

第2回 北信越体育・保健体育ネットワーク研究会 —「信州そばラウンド」開催



平成25年10月5日(土) 13:30~16:50 ホテル信濃路

第2回北信越体育・保健体育ネットワーク研究会「信州そばラウンド」が、長野市ホテル信濃路で開催されました。鹿屋体育大学佐藤教授、信州大学岩田教授をお招きし、新潟県から9名もの参加があり、総勢29名で体育・保健体育授業について、和気あいあいの雰囲気の中にも、体育の本質に迫る議論が展開され、充実した研究会となりました。(もちろん夜の会も大いに盛り上りましたよ。)

[トピックス] ~体つくり運動アプリの開発~ 鹿屋体育大学 佐藤豊 教授

まず佐藤先生から現在開発中の体つくり運動アプリの紹介がありました。10台のタブレットを持ちこんでいただき、実際に2~3人に1台でタブレットを操作しながらの研修でした。2014年春配信予定ということで、参加者はハイテクを駆使しての授業風景を想像しながら、真剣に活用法を見出そうとしていました。直接触れてみて、生徒が自分のペースで種目を選択しながら進められるメリットが魅力的という感想を持ちました。タブレットを購入する費用面の課題や、小学生の利用の際の工夫等の率直な意見もいただきました。



[実践報告]①ゴール型ゲーム「みんなでチャンスをつくろうダイレクトボール」

佐久市立野沢小学校 松本隆先生・宮崎忠先生

②体育理論の授業展開について 長野高校 内山みのり先生

③小学校教職員を対象とした体力向上のためのスキルアップ講座

-感じ！考え！授業につなげるために- 長野県教委 中信教育事務所 黒田敏樹指導主事



野沢小の松本先生からは、ゴールをダイレクトでねらうサッカー授業の工夫実践の報告がありました。授業実践者の宮崎先生の感想も聞くことができ、ダイレクトシュートは難しい部分もあるが、布ボールにしたり、サイドエリアをつくったことで、ゴールを決めるサッカー本来の楽しさを伝えることができるという報告でした。2番目は体育理論の授業展開について長野高校の内山先生から報告がありました。内山先生は佐藤教授の著書「体育理論の授業をつくろう」の執筆協力者でもあり、以前から授業研究を重ねている高校では希少(?)な熱心な先生です。1年生4時間分の指導案と生徒用プリントが提供され、佐藤先生からも「進化している！」とお褒めのことばをいただきました。最後に教育事務所の黒田先生から県教委スポーツ課作成の「体力向上プログラム（長野県版運動プログラム）」の普及を進めるため、中信地区の小学校へ出向き、運動の捉え方や教材化のヒントを示し、日々の授業に繋げるための講座について報告いただきました。23年度から延べ1000人以上の先生方が受講しています。新潟県から参加された先生から「長野県版運動プログラムのDVDがぜひ欲しい」というリクエストがあり、新潟への普及も近いかもしれません。

[研究最前線] ~よい体育授業に向けての教師の授業イマジネーションと意思決定~

信州大学 岩田靖 教授

地元信州大学岩田先生からネット型ゲームの授業「アタックプレルボール」を例にとり、体育の教材づくりと授業づくりをつなげるための授業イマジネーションの重要性をご教示いただきました。「教材は同じでも成果をあげるのは、先生方の力量にかかっている」「体育の授業が体育嫌いをつくっていいないか」という我々教員の本質に迫るお言葉をいただきました。



[最後に]◎新潟県から大勢お越しいただき、佐藤教授、岩田教授にもお忙しいところご参加いただき本当にありがとうございました。是非次回は富山県、石川県、福井県へ繋がっていくことを願っています。北信越のネットワークをみんなで広げましょう！！

(長野事務局 桑原俊樹)

